

出題分析			
試験時間	60 分	配点	50 点
		大問数	4 題
分量 (昨年比較)	[減少 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 増加]	難易度変化 (昨年比較)	[易化 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 難化]
【概評】 出題形式は例年、記号選択と短答記述の 2 つであり、今年もそれが踏襲された。2021 年から記号選択問題にはマーク式が導入されている。今年も全 50 小問中、記号選択問題が 27、短答記述問題が 23 で、昨年の全 50 小問中、記号選択問題が 29、短答記述問題が 21 とほぼ変わらない。今年も昨年と同じく地誌重視の傾向が見られ、 I は先生と生徒の会話という形式ではあるものの実質的には地誌であった。昨年は難しい用語を問う問題が複数見られ、記号選択問題も判断に迷う問題が少なからずあった。今年も同様の傾向が見られ、難易度は昨年並といえる。			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	フンボルトが描いた図に関する先生と生徒の会話	フンボルトが描いた図に関する先生と生徒の会話に関する問題で、実質的に南アメリカの地誌問題である。問 1 は会話文を手がかりに解答を導きたい。問 2 は③がやや難しい。問 3 はアンデス山脈の高度別の農業について整理できていれば容易である。	標準
II	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国に関する問題である。問 1 の A は漢字 2 字で解答することに注意する。E は難しい。問 2 は消去法で選択肢を絞り込みたいが、難問である。問 3 は地理の知識問題としては難しい。問 4 はメキシコと国境を接する州ではヒスパニックが多いこと、ニューヨーク州は他の 3 州と比べ黒人やアジア系が多く多様性に富んでいることから判断する。問 5 はコロンビア川が自然的国境ではない。問 6 はアメリカ合衆国が農林水産業、製造業から金融業に比重が移っていることから判断する。問 7 はシリコンヴァレーがカリフォルニア州にあることなどから判断する。問 8 はグラフをよく読めば容易。	やや難

設問別講評			
Ⅲ	フランスと国境を接する国	フランスと国境を接する国に関する問題である。問1は④の解答に悩む。問2は確実に正解したい。問3、問4、問5は地図帳を利用した学習ができていたかが問われた。問6も正解したい。問7は問題文の「この国東部の地方の言語」から判断する。問8は1がドイツ、2がベルギー、3がスイス、4がスペイン、5がイギリスであり、表をよく読めば容易である。	標準
Ⅳ	アフリカ	アフリカに関する問題である。問1はcがやや難しい。ブルキナファソは旧フランス領である。問2はdがやや難しいが、それ以外は正解したい。	標準

合格のための学習法

今年度は全体的に地誌要素の強い問題が多い内容であったが、系統地理の知識を問う問題も少なからず見られた。そのため、系統地理と地誌のバランスを取った学習が重要となる。また、近年は統計問題が必出となっており、統計問題にも対処できるようにしなければならない。そのためには日頃から統計に触れる必要がある。市販されている統計書以外からの出題も見られることもあるので、そのような問題に対応できるように学習を進めたい。受験生の間で得点差がつきやすいのは地名問題であるので、教科書に載っている地名はもちろん、過去問などで問われた地名も押さえるようにしよう。合格点を取るには、幅広い知識を身につけ、地名などを的確にアウトプットできるよう、地道な努力を重ねることが肝要である。